

LOBO 調査

早期景気観測

3月 日商調査日 3月7日～18日
当所調査日 3月7日～20日

LOBO調査とは

全国各地の商工会議所が参加して、日本商工会議所が実施する全国規模の早期景気観測調査。当所ではさらに、商工振興員の皆さまにも調査へのご協力をいただき、より地域に根差した調査を実施。

日商調査

3月の全産業DI ▲16・9
(前月比+1・2ポイント好転)

○中小企業の景況感

「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。深刻な人手不足の影響拡大や原材料費の高止まり、根強い消費者の節約志向を指摘する声は依然として多く、中小企業の業況改善に向けた動きは力強さを欠く。

○プラス要因

堅調な民間工事を中心とする建設業に加え、春の観光シーズン到来によりインバウンドを含む観光需要が好調に推移した。

○マイナス要因

受注が減少した半導体や産業用機械、自動車関連を中心とする製造業の業況感が悪化した。

○先行き

先行き見通しDIが▲19・1(前月比▲2・2ポイント)と悪化を見込むものの、「好転」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。

○期待感の持てるプラス要因

個人消費の拡大やインバウンドを含む

めた春の観光需要拡大への期待感がうかがえる。

○課題

人手不足による影響の深刻化や、原材料費の上昇、コスト増加分の価格転嫁遅れ、貿易摩擦の激化、世界経済の動向、消費増税の影響など不透明感が増す中、中小企業においては、先行きへの慎重な姿勢が続く。

【関東ブロックの業況についてのコメント】

「米中貿易摩擦の影響に加え、『シリコンサイクル』も調整局面に入っており、前年に比べ受注は激減している。今後も好材料に乏しく、しばらくは売上高の前年割れは避けられない」(半導体部品等製造業)、「都市部の再開発やオリンピック関連などの民間工事のほか、補正予算に伴う公共工事が増加しており、売上は堅調。だが、技術者を中心とする人手不足から受注を絞らざるを得ない」(一般工事業)、「賞与や手当の増額などの措置を講じているものの、新規採用にはつながらず、人手不足が慢性化している。人手不足解消に向けた具体策を見いだせない状況が続く」(自動車整備業)

当所調査

「全体平均DIは 前月に比べて悪化」

全体平均DIは▲12・7ポイントで、前月に比べ▲7・0ポイントの悪化。

項目別では、前月と比較し売上先行きが▲31・1ポイント、業況先行きが▲24・0ポイント、資金先行きが▲19・6ポイントと大幅に悪化した。

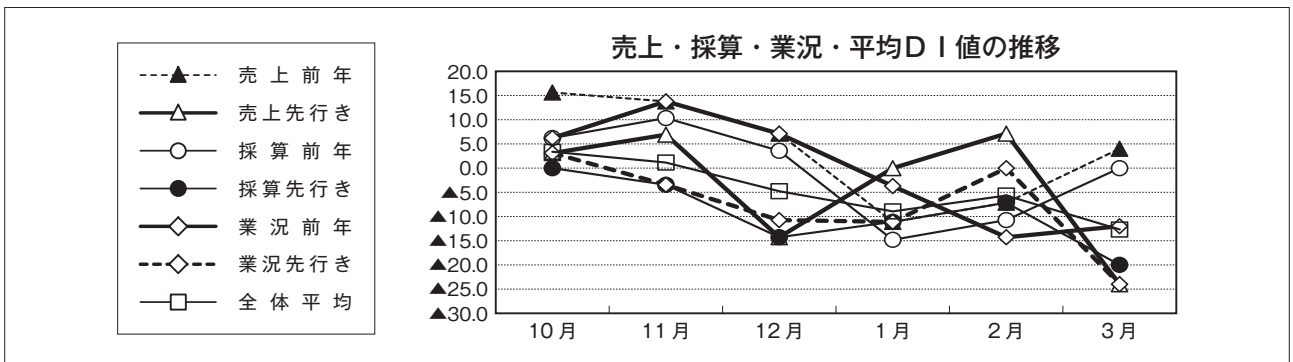
寄せられたコメントには「新元号への切り替えに伴い、印刷物の売り上げ増加が見込まれる」(紙製品卸売業)という声が聞かれた。

(全産業)

水戸商工会議所商工振興員LOBO調査(DI値推移)

(サンプル数40社)

項目	平成30年				平成31年		
	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上前年	10.7	15.6	13.8	7.1	▲ 11.1	▲ 7.1	4.0
売上先行き	▲ 14.3	3.1	6.9	▲ 14.3	0.0	7.1	▲ 24.0
採算前年	▲ 3.6	6.3	10.3	3.6	▲ 14.8	▲ 10.7	0.0
採算先行き	▲ 28.6	0.0	▲ 3.4	▲ 14.3	▲ 11.1	▲ 7.1	▲ 20.0
仕入前年	▲ 32.1	▲ 31.3	▲ 44.8	▲ 32.1	▲ 37.0	▲ 32.1	▲ 56.0
仕入先行き	▲ 28.6	▲ 40.6	▲ 44.8	▲ 35.7	▲ 44.4	▲ 39.3	▲ 48.0
社員前年	25.0	28.1	27.6	21.4	29.6	14.3	20.0
社員先行き	25.0	31.3	34.5	25.0	25.9	25.0	32.0
業況前年	▲ 3.6	6.3	13.8	7.1	▲ 3.7	▲ 14.3	▲ 12.0
業況先行き	▲ 21.4	3.1	▲ 3.4	▲ 10.7	▲ 11.1	0.0	▲ 24.0
資金前年	▲ 14.3	12.5	6.9	0.0	▲ 18.5	▲ 7.1	▲ 8.0
資金先行き	▲ 14.3	6.3	▲ 3.4	▲ 14.3	▲ 11.1	3.6	▲ 16.0
全体平均	▲ 8.3	3.4	1.1	▲ 4.8	▲ 9.0	▲ 5.7	▲ 12.7



※DI値(景況判断指数) = (増加・好転等の回答数 - 減少・悪化等の回答数) / 全回答数 × 100。ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりや意味するもの。